

オリック通信 No 1

あッ！と驚く 洗濯術

【形状安定加工シャツの正しい扱い方】

「形状安定加工シャツ」が市場に出まわって25年ほどが経ちました。アイロンをかけずにそのまま着られて便利のため、ビジネス用として購入された方も多いのではないのでしょうか。

しかし、いまだにお客様から「シワができたのだけど、これは不良品？」というご相談を受けます。形状安定加工シャツなのにシワができた原因は、次の3つが考えられます。

1. 洗濯機で強く絞りすぎ
2. 綿の混紡率が高い、あるいは綿100%の製品
3. 高温でアイロンをかけてしまった



形状安定加工シャツを洗い終わった後の脱水時間は、弱絞りで10秒以内です。つまりハンガーで干した際に、水がポタポタと滴り落ちる状態がベストです。

水分が多いのですぐには乾きませんが、そこが重要なポイントです。水分の重みでシワを伸ばすように作られていますので、乾くとシワもきれいに無くなっているはずですよ。

代表的な形状安定の加工方法は2つあります。1つは縫製されたシャツにホルマリンガスを浸透させ、形状を安定させる方法。もう1つは生地を液体アンモニアと樹脂で加工し、縫製後に高温で熱処理して形状を安定させる方法です。素材の主流はポリエステルと綿の混紡ですが、最近では着心地を重視する方のために綿100%

ものもあります。綿はシワになりやすい繊維のため、綿の比率が高ければ高いほど形状安定性は低くなります。

形状安定加工シャツに何よりもよくないのは、高熱でアイロンをかけてしまう行為です。一度でも高温にさらされると、その生地は形状安定性が一気に落ちてしまい、二度とシワが直ることはありません。干し終わったら、シワが直るまでアイロンをかけずに気長にお待ちください。

しかし、クリーニングに出していただいた時のようなパリッとした張りは望めません。そのような感触がお望みでしたら、やはり私どもにお任せください。

